



上里町男女共同参画  
推進センター  
シンボルマーク

# ウイズ・ユ-

あなたとともに

## 10月15日(土)樋口恵子さん講演会開催



平成23年度 東京家政大学 & With You さいたま公開講座  
男女共同参画基礎講座 第1回 in上里 テーマ「人生百年 すべての男女に居場所と出番」  
講師 樋口 恵子さん 関連記事…P5

### 特集

- 郷土の偉人 西崎キク 生誕100年記念事業「もう一度 あの人に会いたい」  
～青い空に夢を叶えた勇気ある女性の生涯～…………… 2・3
- 人権教育指導者養成講座…………… 4
- かみさと男女共同参画推進プランの一部改訂!!・樋口恵子さん講演会…………… 5
- リレー随想・女性団体連絡協議会開催の講座報告…………… 6
- センター事業活動推進委員会だより「すてきなシニアライフを語る」・開催講座報告…………… 7
- 町で見つけた輝く女性・相談事業のご案内・編集後記…………… 8

# あの人に会いたい

## 勇気ある女性の生涯～



西崎キク自筆画

日本初の女性水上飛行士となった西崎キク（1912～1979）の誕生から100年をむかえ1月28日、当センターにおいて記念事業を開催しました。今年誕生100年を記念し、上里町男女共同参画アドバイザーの会の皆さんが、紙芝居実演活動と解説ボランティアとして誕生し、様々な場で活躍しています。もう一度キクの足取りをかみしめ、今の私たちに勇気と元気をあたえてくれた郷土の偉人西崎キクのすばらしい女性の生き方を、未来に語り継いでいきたいと思えます。

### 飛躍への契機

キクは大正元年、今から百年前、児玉郡七本木村（現上里町）の農業、松本家の八人兄弟の次女として生まれました。幼い時から好奇心が旺盛で天才的な才覚を発揮していた。

キクは埼玉県立女子師範学校の二年制を卒業後、十六歳で神保原小学校の教師になった。

ある時、飛行機に出会ったのがきっかけで飛行士への道を志した。二十歳の時、水上機二等操縦士の免許を取得し、日本最初の女流水上飛行士となった。



昭和9年春、亜細亜飛行学校で陸上飛行機免許取得のため練習中のキク

映画開拓地の子供たちに出演中のキク  
この映画は昭和13年に円城寺監督によって撮影された満州映画で、開拓地の子供たちの1年間をドキュメンタリーで追いかけている



### 華やかな飛行士時代

キクは水上機の免許を取得した二カ月後、郷土訪問飛行を行い、数万の観衆から熱い歓迎を受けた。

その後、キクは陸上機の免許を取得して日満親善皇軍慰問飛行を行った。この功績が認められ、日本女性海外飛行第一号として、国際航空連盟よりハーモントロフィー賞と終身会員証が授与された。キクはリンドバーグと並んで、その名を航空史上に残した。

日中戦争がたけなわとなり、従軍を志願したが国情により却下された。大望を果たせなかったキクは、新たな生き方を探し始めた。

### 夢を託した新大陸

キクは二十六歳の時、満蒙開拓民N氏の花嫁となり北満の老街基琦玉村に入植した。キクはここを第二の祖国とし、骨を埋める覚悟で性根をすえて出発点に立った。

キクは埼玉村の在満国民学校で教鞭をとる傍ら、新大陸の理想郷建設のために命がけて働いた。

入植四年目に夫と死別。その後、再婚して一児の母となった。戦争が激化し、琦玉村の男性たちは殆ど召集され、夫も終戦の十日前に出征した。夫はそのままシベリアに抑留された。



久々の翼に乗って  
(昭和51年・日本婦人航空協会日本一周参加)

日本初の  
女性水上飛行士  
西崎キク  
生誕100年記念  
事業

平成24年  
1月28日(土)  
開催しました

# もう一度、 ～青い空に夢を叶えた

## 敗戦〜故郷へ

敗戦と同時に相次ぐ匪襲で、生きる術を失った埼玉村には青酸カリが用意され「生か死」かの土壇場で、キクは生に賭けた一行と村を脱出した。一行は修羅場を潜り抜け、七カ月後やっと故国に辿り着いた。生還できた者は脱出時の三分の一にも満たなかった。キクは途上で子どもを亡くした。

帰国後、キクは七本木開拓地に入植し、教員をしながら農業に勤しんだ。四年後に復員した夫と共に営農への道を拓いた。

キクは晩年、上里町の婦人教育に力を注いだ。また第一回世界女性会議に参加するなど、男女共同参画推進の先駆けとして活躍したが、惜しくも六十六歳で他界した。

キクは著書「紅翼と拓魂の記」に波乱万丈の人生を綴っている。なお、開拓婦人体験記は農林大臣賞を受賞している。



昭和50年メキシコで開催された国際婦人年の国際大会に参加した帰りに立ち寄ったアイスノーランドでのキク



会場の様子

郷土の偉人西崎キク生誕100年記念事業は、定員を超える141名の参加で、第1部記録映画とゆかりのある方々との座談会・第2部上里町男女共同参画アドバイザーによる紙芝居と展示解説・第3部西崎キクの愛した歌の調べ合唱団カンターレの皆さんと一緒に歌いましょう♪と題して行われました。

座談会では、キクさんの三男の西崎修さん、キクさんの教え子の矢島孝雄さん、教育委員会でキクさんに仕事の教えを受けた小野英彦さん、コーディネーターは上里町男女共同参画アドバイザーの片倉す寿子さんが参加し、様々なエピソードに会場からは笑い声や感心の声がおこり、終始なごやかな雰囲気でした。

紙芝居と展示解説では、参加者から「紙芝居も解説もよくできていてすばらしいですね」「ぜひ子供たちにも見せたい」「よりに深く理解できた」など多くの声寄せられ、また、カンターレの皆さんは、参加者と一緒に懐かしい曲を歌い、西崎キク生誕100年にふさわしく青い空に歌声が響きました。



紙芝居…アドバイザーの会  
右から前村さん、佐藤さん



座談会の様子…右から片倉さん、  
矢島さん、西崎さん、小野さん

アドバイザーの会では、七本木公民館・児童館・男女共同参画推進センター祭りや、子どもわんぱく合宿などで紙芝居を上演し、また、2月9日にはキクの最初の赴任地である神保原小学校で上演しました。



2月9日神保原小学校にて、1・2年生対象に紙芝居を上演



合唱団カンターレの皆さん



展示解説…アドバイザーの会  
右から廣瀬さん、大野さん

# 人権教育指導者養成講座(全6回)

第3回  
12月2日(金)開催

上里町では、毎年人権教育指導者養成講座(全6回)を開催しています。第3回は「男女共同参画～女性の人権～」と題し、男女共同参画アドバイザーを交えて当センターで行いました。



あいさつをする23名の男女共同参画アドバイザーの皆さん

受講者56名は、上里町男女共同参画推進センター所長の講義のあと、DVについてビデオ学習し、各班に男女共同参画アドバイザーを交えて、グループ討議をしました。各班の発表では、女性の人権を守るこの大切さや、思いやりを持つこと、DVについての理解が深まったなど、活発な意見が多く出され、有意義な講座となりました。



～各グループ、討議の様子、活発な意見が飛び交います～



～各グループ、発表の様子～



14名の男女共同参画アドバイザー会員の皆さん

今年度も、上里町から14名の方々が平成23年度埼玉県男女共同参画アドバイザーになりました。そして、上里町男女共同参画アドバイザーの会員となり今後の活躍が期待されます。

\*写真前列右から…福島 勲さん  
高林美江子さん・相川孝二郎さん  
高橋 則子さん・中島美枝子さん  
川名富美枝さん

\*写真後列右から…杉山 文子さん  
木村 光子さん・飯田 光子さん  
高橋 綾子さん・出浦 里美さん  
村島 茂子さん・鈴木 稔さん  
杉山 悦子さんの計14名

## ■ かみさと男女共同参画推進プランの一部改訂!! ■



上里町男女共同参画推進審議会の様子

上里町では、かみさと男女共同参画推進プランを、平成21年度から平成25年度までを計画期間として策定しました。平成22年12月17日、国において第3次男女共同参画基本計画が閣議決定され、新たに「防災」「地域おこし・まちづくり・観光」「環境」の各分野に男女共同参画の推進が重点分野とされました。そしてまた、平成23年3月11日の東日本大震災発生に伴い対応について提言があり、これを受け埼玉県より、本提言を踏まえ市町村の男女共同参画推進計画に避難所における女性への配慮を定めている規定がない市町村については、平成23年度中に基本計画に配慮規定を盛り込むよう通達がありました。これらのことに伴い、かみさと男女共同参画推進プランの一部見直し改訂しました。

\*詳しくは、上里町ホームページをご覧ください。

## ■ 6月の男女共同参画週間では「災害と女性」をテーマに講演会を開催!! ■



講演する講師の相川康子さんと会場の様子



講演終了後、講師と参加者とのフリートーク



皆様からお預かりした義援金は、10,000円でした。あたたかいご協力ありがとうございました。

6月19日、講師 特活NPO政策研究所専務理事 相川康子さんによる男女共同参画週間講演会、テーマ「災害と女性」(防災・減災・復興に男女共同参画の視点を)が、165名の参加により開催されました。東日本大震災発生によりあらためて防災・減災・復興について女性の視点での問題「避難所での間仕切り、食事、着替えやトイレ、衛生用品、性的暴力、DVなどで災害弱者にしない等」が提起され、災害リスク軽減のために女性が積極的に防災分野に参画することの大切さを学びました。また、当日参加された皆様からお預かりした災害復興のための義援金は、日本赤十字社埼玉県支部上里町分区分から日本赤十字社埼玉県支部を通じて被災地の皆様へ送らせて頂きました。皆様のあたたかいご協力ありがとうございました。

平成23年度 東京家政大学 & With You さいたま公開講座 男女共同参画基礎講座 第1回 in上里 テーマ「人生百年 すべての男女に居場所と出番」

## 10月15日(土) 樋口恵子さん講演会開催



本にサインをする  
樋口恵子さん

当日は、176名の参加があり、2時間30分の講演は、わかりやすくユーモアたっぷりです。「人生100年を生きる覚悟」「因習のような常識はどんどん入れ替えていく」「高齢者になると居場所がなくなりがちなので、積極的に人とつながることが大切」「長生きが尊重されて幸せに思え、長生きが社会をよくするような生き方をしたい」等、これからの生き方について大変参考となる講演会となりました。

No.18号から引き続き、上里町男女共同参画推進センター(ウィズ・ユー上里)開設以来、男女共同参画社会の実現に向けて日々活躍されています上里町女性団体連絡協議会に加入している団体の代表者にお話を伺いました。



**JA埼玉ひびきの  
上里地区女性部**  
**会長  
笠原 初枝**

去年は、東日本大震災が起こり、それに伴う原発事故により加須市の旧騎西高校に避難されている双葉町の皆さんに、炊き出し支援隊として行ってきました。生きることの大切さ・食の大切さを痛感いたしました。

また、男性の家庭参画セミナーに参加させていただき、地元新鮮野菜を使ったおいしいすいとんや家庭料理を紹介することができました。男女共同参画の一步の一助になればと思います。

12月1日(木)「地元新鮮野菜を使ったおいしいすいとんや家庭料理」



餃子が焼けました!!



講師のJA埼玉ひびきの上里地区女性部の皆さん

男女共同参画社会の実現を目指して!

# リレー随想



**食生活改善推進協議会**  
**会長  
高橋 裕子**

私たちの会は、健康で幸せな社会づくりの一環として、食生活改善を中心とした健康づくりのボランティア活動を推進しています。

『私たちの健康は私たちの手で』を合言葉に、望ましい食生活の普及に努めるとともに、地域の健康づくりの輪を広げ、町民の皆様の健康増進の向上に役に立つよう、勉強、活動を続けています。

1月19日(木)「高血圧予防教室～食生活改善レシピ～」



高血圧予防の話聞く参加者 調理指導をする高橋会長



## 女性団体連絡協議会開催の講座報告



10月25日(火)生涯健康でありつづけるために  
～今、伝えたい 乳がん検診の大切さを～



乳がんについて説明する保健師



乳がん教育用視触診モデルを触診ししこりを確認する参加者

「生涯健康でありつづけるために」は71名の参加がありました。参加された方は体験談や保健師の話から、早期に発見するための定期的な検診や自己触診の大切さを学び、真剣に乳がん教育用視触診モデルで体験をしていました。



11月13日(日)  
DVと児童虐待の根絶をめざして



会場の様子

「DVと児童虐待の根絶をめざして」は第1部、NPO法人レジリエンス副代表の話、第2部、表現倶楽部 言の葉の朗読劇を聞き、102名の参加者からは、DVと児童虐待が身近におこる事を教えてもらってとても勉強になった、朗読劇は心に深く響き感動したなどの声が寄せられました。

情報紙No.17にて、人生の第2ステージ・シニアライフをいかに健康で楽しく前向きに生きるか?をテーマに座談会を開き、特集しました。今回は第2弾として事業活動推進委員の高橋さんと丸山さんにすてきなシニアライフを伺いました。



元気にウォーキングする  
高橋さん

昇る朝日の中、元氣よく自宅を出る。飛び交う小鳥のさえずりを聞き、大空に向かつて力強く生きる野菜畑を眺め、左に浅間山、正面に赤城山を見て、まずは6000歩のウォーキングが始まる。次に、スポーツジムにて1万歩分の汗を流し、時には魚クラブの仲間と自分でさばいた刺身をおかずに昼食をとり、世間話に花が咲き楽しいひとときを過ごす。昼食後は時々趣味のウクレレの練習をする。その後、公園の鯉や花を見ながら6000歩、これで1日分達成である。このサイクルを4日間、土日の少年野球で2万歩をこなし、1年間で65kgの体重が61kg弱になり、ベルトの穴が2つ程縮まった。夢の20代の体重を目指し前進したい。楽しいね！元氣なうちに少しでも社会貢献できたら、全てよし。

目標・週10万歩強  
ウォーキング  
高橋 次男



自宅工房で  
指導する  
丸山さん



自宅工房にて

在職中の昼休み、会社の図書室で見た本の中にステンドグラスがあった。それはヨーロッパの伝統工芸色ガラスの組合せで、とても美しいと感じた。そんなある日、旅行先のホテルに大きなステンドグラスの実物を見た時、とても感動してこれに挑戦してみようと思った。定年退職後すぐに電話帳で調べ川口市の本格派ステンドグラス教室を選び、他の教室には無い色々な技法を学んだ。五年間で普通の倍以上の経験を積み、もつと絵付けに役立てるよう絵画クラブで学んでいる。師匠から教室を開く許可を得て、七本木公民館や物置兼アトリエで仲間と楽しく作品作りに励んでいる。時々他の仲間と雑談したり、大合唱になる場もある。

ステンドグラスと出合っ  
て  
丸山 清之

## 事業活動推進委員会開催講座

### 子育て支援講座

H23.11.26(土)  
開催

「ビーズで作るクリスマスリースのキーホルダー」



講師の高林 美江子さん



親子できれいなクリスマスリースができました



ビーズを落とさないように真剣です



きれいに出来ました

「貝でつくるお雛さま」H24.2.10(金)  
開催



講師の飯田 光子さん(右)



自分の作ったお雛さまの前で...

## With Youさいたまフェスティバルに参加しました！

2月3・4・5日に開催されたWith Youさいたまフェスティバルには上里町から、上里町女性団体連絡協議会・事業活動推進委員会・上里町男女共同参画アドバイザーの会・上里町女性会議の4団体が参加しました。



あいさつをするアドバイザーの会 小暮会長(左) 紙芝居を実演した石川さん(中央) 前村さん(右)



朗読劇を行った上里町女性会議の皆さん



事業活動推進委員会と女性団体連絡協議会、男女共同参画アドバイザーの会の皆さん

# 町で見つけた輝く女性

にインタビューしました

上里町農業委員会は、平成14年より3年任期で2名の女性委員が任命されています。今回は編集部でこのお二人にインタビューしました。



取材に答える  
金井絹江さん(左)と金井洋子さん

開口一番「これからの農家（農業）経営は、ますます良い方向に改善されますよ」と活き活きとした満面の笑みで話し始めたのは、女性農業委員の金井洋子さんと金井絹江さんです（同姓ですがご親戚でも姉妹でもありません）。二人とも県の農業アドバイザー研修を修了され、洋子さん宅は養豚農家で夫である社長と家族経営協定を締結し、労働時間、休日、賃金、作業内容、役割分担等を明確化し省力化を図り、週30頭の計画出荷（繁殖・飼育・出荷）の他に、米作、種麦作を家族4名で経営されています。

一方、絹江さんは、施設園芸（水耕栽培）の農業生産法人を設立し、上里町と長野県野辺山地区で、ソルトリーフ（塩菜）を栽培。パートを含む8名で経営されています。

お二人とも日々多忙ですが家族経営協定により、夫との意思疎通ができ、農作業がより一層楽しくなったこと、また、太陽の下、汗と自然の風を感じながら安全な食料を生産できるのも自営の喜びと、自慢されていました。夫の良きパートナー（男女共同参画）として活躍ください。

## 相談無料 相談事業のご案内 秘密厳守

上里町では、毎日の暮らしの中でおこるさまざまな出来事で悩んでいる女性のために、総合相談窓口を開いています。専門の女性相談員と相談ボランティアがお話をうかがいます。また、女性弁護士による法律相談もおこなっています。ひとりで悩まずご利用ください。

### 相談窓口

### 相談時間等

### 問合せ先・電話番号

上里町女性のための総合相談 (要予約)	【女性相談員による悩み事相談】 毎月第1～第4水曜日 13:00～16:00 電話相談可 (平成24年4月から変更あり) 【女性弁護士による法律相談】 平成24年度・計4回 10:00～12:00 4/18・7/18・11/21・2/20	上里町男女共同参画推進センター (ウイズ・ユー上里) ☎0495-35-1357
埼玉県配偶者暴力 相談支援センター	月～土 9:30～20:30 日・祝 9:30～17:00 (12/29～1/3は除く)	埼玉県配偶者暴力相談支援センター ☎048-863-6060
With You さいたま相談室	月～土 10:00～20:30 (年末年始 祝日 第3木曜日を除く)	埼玉県男女共同参画推進センター ☎048-600-3800
埼玉県北部地域振興センター (熊谷市) 法律相談 (要予約)	毎月第1・第3・第4水曜日 13:00～16:00 (年末年始 祝日を除く)	埼玉県北部地域振興センター ☎048-522-6506
法テラス埼玉 法律に関する情報提供・相談	相談予約受付 月～金 9:00～17:00 (祝日、年末年始を除く) 情報提供 月～金 9:00～16:00 (祝日、年末年始を除く)	法テラス埼玉 ☎050-3383-5375

## 編集後記

ふるさとの“東日本大震災”“原発事故”発生から1年が過ぎようとしています。当時の映像を見聞きするたびに今でも涙が滲みます。国と国民の支援、地元の努力、人々の絆により復興が進み、多くの希望の光が射して参りましたが、ますますの復興のスピードアップを望みます。

本24号より年1回の発行(毎年3月)となり、8ページ版となりました。男女共同参画の情報紙として、より一層の充実を図って参ります。(S)

絆

